

日本フォスターケア研究会 沿革

平成26年度	平成26年7月1日～平成27年6月30日
<p>第1回日本フォスターケア研究会準備委員会開催</p> <p>日本フォスターケア研究会設立総会 第1回研究大会開催</p>	<p>目的 JaFCAを設立するための準備委員会を開催する</p> <p>期日 平成26年8月28日(木) 午後3時</p> <p>場所 こどもの城</p> <p>参加者 星野全里会長、相澤仁先生、他多数</p> <p>期日 平成27年2月14日(土)・・・一日開催</p> <p>場所 こどもの城 905会議室</p> <p>参加費 会員：3000円、学生：1500円、交流会：3500円</p> <p>参加者 研究者、里親など87人</p> <p>総会 設立趣旨、会則、事業計画、役員の選出が承認された。 理事：星野崇、相澤仁、林浩康、小田切則雄、監事：青葉紘宇</p> <p>研究大会</p> <p>○基調講演：上鹿渡和弘先生(長野大学) 「社会手養護における研究・実践・施策の共同の重要性について」</p> <p>○研究発表 藤野興一氏(全国児童養護施設協議会長)、桑名佳代子氏(宮城大)、白井千晶(静岡大学)、河尾富司氏(相模女子大学)、ト蔵康行氏(日本ファミリーホーム協会会長)の6名。</p>
平成27年度	平成27年7月1日～平成28年6月30日
<p>第2回研究大会開催</p>	<p>期日 平成27年12月19日(土)</p> <p>場所 日本女子大学目白キャンパス (当初の大正大学から変更)</p> <p>参加費 会員：無料、非会員：3000円、非会員学生：2000円</p> <p>参加者 164人</p> <p>総会 会則の承認、理事選任、来年度の事業計画。 理事選任では、事務局提案者として林浩康氏、相澤仁氏、矢作由美子氏、山本真知子氏、他に立候補者として松本素子氏、加藤久美氏、岩朝しのぶ氏、竹中勝美氏が理事として、また監事として青葉紘宇氏、樋川隆氏が了承された。</p> <p>研究大会</p> <p>○特別講演：池上彰先生(東京工業大学教授)とユース6人による 「子どもの未来を考える～社会的養護経験者の声を聴きながら～」</p> <p>○研究発表 第1会場：三輪清子氏(立正大学)、川名はつ子氏(早稲田大学)、陶かい氏(早稲田大学)、山本真知子氏(田園調布学園大学)、池上和子氏(全国里親会・東京女子大学)。 第2会場：木ノ内博道氏(全国里親会)、竹中勝美氏(親が育てられない子どもを家庭に！里親連絡会)、前田誠一氏(さがみの里親会)、松本素子氏(この指ネット)。</p>
平成28年度	平成28年7月1日～平成29年6月30日
<p>第3回研究大会開催</p>	<p>期日 平成28年12月18日(日)</p> <p>場所 日本女子大学目白キャンパス</p> <p>参加費 会員：無料、非会員：3000円、非会員学生：2000円</p> <p>参加者 85人</p> <p>総会 平成27年度事業報告 来年度(平成29年度)の事業計画など。</p> <p>研究大会</p> <p>○基調講演：奥山真紀子先生 「これからの家庭養育のあり方について～児童福祉法の改正を踏まえて～」</p>

	<p>○シンポジウム 「つまづきを通して学び続ける里親養育について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター：相澤仁先生（大分大学） ・話題提供者：木浪善光氏（青森県会長）、岩朝氏（奈良県子ども支援協会会長）、中島嘉津子氏（仙台市里親会）のピンチヒッターで星野優子氏（東京養育家庭の会） <p>○シンポジウム 「これからの家庭養育のあり方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相澤仁先生（大分大学教授）、奥山眞紀子先生（国立成育医療研究センター副院長、こころの診療部長）、上鹿渡和宏先生（長野大学社会福祉学部准教授）、松崎佳子先生（九州大学人間環境学研究院教授） <p>○研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユース！大いに語る <p>9人のユースが参加して思いを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里親ラウンドテーブル <p>岩朝氏（奈良県子ども支援協会会長）のコーディネートで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究発表 …………… 4人 <p>○交流会</p>
平成29年度	平成29年7月1日～平成30年6月30日
第4回研究大会・総会	<p>期 日 平成29年12月16日（土）</p> <p>場 所 オリピック記念青少年総合センター（東京 代々木）</p> <p>参加費 会員：無料、非会員：3000円、非会員学生：2000円</p> <p>参加者 98人</p> <p>総 会 平成28年度年度事業報告 来年度（平成30年度）の事業計画など 研究大会</p> <p>○基調講演：津崎哲郎氏（全国里親会副会長） 「改正児童福祉法～理念改正を踏まえた里親養育の実践」</p> <p>○シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター：小林真理子氏（山梨英和大学 副学長） ・シンポジスト：奥田晃久氏（元児童相談所所長）、岡聡志氏（元児童相談所所長）、矢内陽子氏（里親センター里親支援専門相談員） <p>○研究発表</p> <p>金川世季子氏、石井氏、村井氏（埼玉県里親会、里母の会） 「生い立ちの授業」</p> <p>都留和光氏（社会福祉法人二葉乳児院 院長） 「施設・乳児院と里親の新たな協働」</p> <p>和泉博恵氏（日本女子大学 准教授） 「モッキンバード・ファミリー・ソーシャルモデル」</p> <p>本多泉氏（NPO法人子ども家庭センターちば（通称オレンジの会）） 「早期から関係作りと切れ目のない支援」</p> <p>入江拓氏（聖隷クリストファー大学看護学部教授、専門里親） 「被虐待・愛着障害・発達障害・精神障害・非行などにより養育困難な子どもを受託し、不調による措置変更を体験した里親夫婦の体験とその背景」</p> <p>市川太郎氏（NPO自立支援をすすめる松葉の会 理事長） 「昭和期における里親制度の育ての親～今よみがえる金城芳子の人物と業績～」</p> <p>木ノ内博道氏（全国里親会 広報委員） 「里親会などによるユニークな取り組みの紹介」</p> <p>○第1回H20 サンタシンポジウム 「児童虐待・社会的養護—医療・福祉連携のこれから」10月28日 後援</p>
全国里親大会シンポジウムへの協力	

平成30年度	平成30年7月1日～平成31年6月30日
<p>厚労省助成事業国際フォーラム第2回H2Oサングタシンポジウム</p> <p>第5回研究大会・総会</p>	<p>厚労省助成事業国際フォーラムを主催し、NPO日本子ども支援協会（岩朝氏）の全面的な協力を得て実施。</p> <p>期 日 平成30年10月22日（日）</p> <p>場 所 阪急百貨店うめだ本店9階阪急うめだホール</p> <p>厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課社会的養護専門官、韓明愛（Myoungae Han）氏（韓国の行政担当者）、Anna Solomon（アンナ・ソロモン）氏（米国NAC）、粟津美穂氏（米国IFCA）。</p> <p>○パネルディスカッション コーディネーター：野口啓示氏（福山市立大学准教授）</p> <p>期 日 平成30年年12月15日（土）</p> <p>場 所 オリピック記念青少年総合センター（東京・代々木）</p> <p>参加者 85人</p> <p>総 会 一般社団法人化が決定</p> <p>研究大会</p> <p>○基調講演：伊藤嘉代子先生（大阪府立大学） 「新たな里親の在り方とは～里親家庭における養育実態と支援ニーズに関する調査研究結果から」</p> <p>○シンポジウム 「大阪における家庭養護の動向を全国に発信～」 コーディネーター：岩朝しのぶ氏 パネリスト：伊藤嘉代子先生、古川健一氏（大阪府子ども家庭支援課）、梅原啓次氏（大阪市里親会長）</p> <p>○研究発表：里親実践発表1例、研究発表5例。 大学での研究者2名、社会的養護を話題とした映画監督さん、NPO法人家庭支援センターのアドバイザー、特別養子縁組家庭への支援などの発表がありました。</p> <p>○ユースの集い：参加した多くのユースの皆さんに笑顔が見られました。</p> <p>○交流会：全国里親会河内会長様ほか関係者に御参加いただき開催。</p> <p>○里親会関係の発表 佐野多恵子氏（静岡市里親家庭支援センターフォスタリングアドバイザー） 「静岡市里親家庭支援センター沿革と事業内容」 鈴木和子氏（山梨県きずな会 養育里親） 「里親養育実践 愛情はとても大切、愛情だけでは里親養育は出来ない。里親養育スキルに出会えて」</p>
<p>厚労省助成事業 里親制度国際シンポジウムの開催</p>	<p>期 日 平成31年2月15日（金） 13：30～16：40</p> <p>場 所 新宿文化センター 小ホール</p> <p>主 催 里親制度国際シンポジウム実行委員会 = 日本フォスターケア研究会（主管）、公益財団法人全国里親会、IFCA、毎日新聞社</p> <p>参加者 130人</p> <p>内 容 「日本の里親制度の現状と課題」 島玲志氏（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課児童福祉専門官）</p> <p>○基調講演：アイデ・クーザ氏（HAYDÉE CUZA） （「カリフォルニア・ユース・コネクション」（米国のユース組織）エグゼクティブ・ディレクター） 「米国のユースによるフォスターケア制度への参画」</p> <p>○発表：「日本でも始まったユースの活動」と今後への提言 IFCAのユース2名に日本でのこれまでの活動や今後に向けての提言など</p> <p>○パネルディスカッション コーディネーター：林浩康氏（日本女子大教授） パネラー：アイデ・クーザ氏、ユース、島玲志氏</p>